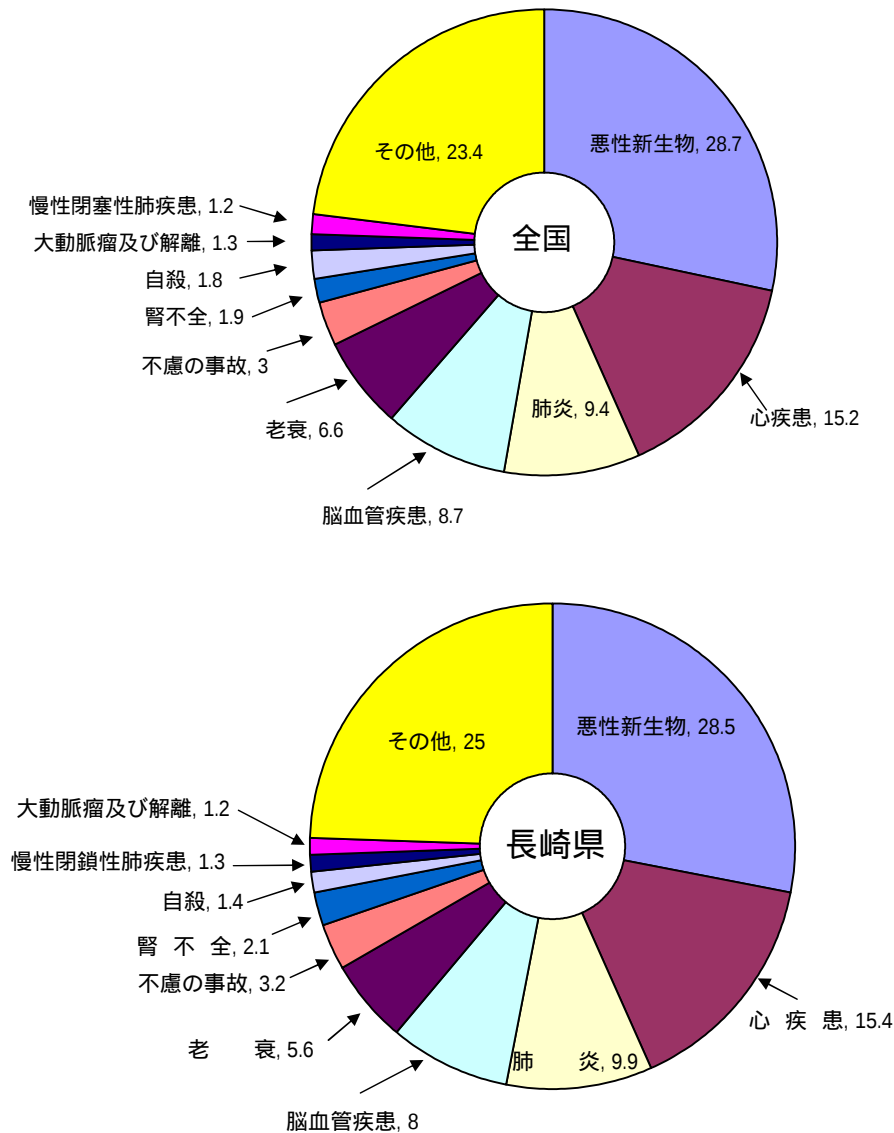


死因別死亡の概況



平成27年における本県の死亡数は、16,855人で、前年より236人減少し、人口千人当たりの死亡率では、12.3で、前年より0.1ポイント低くなっている。

なお、全国の死亡率10.3との比較では2.0ポイント高い(全国順位15位)。

死亡順位・死亡率(人口10万対)を主要死因別にみると、第1位 悪性新生物(ガン) 351.1、第2位 心疾患189.8、第3位 肺炎122.5、第4位 脳血管疾患98.7、第5位 老衰69.2であり、いわゆる三大死因の一つである脳血管疾患を肺炎が上回っている。

なお、本県の悪性新生物による死亡率は、全国の295.5に比べて55.6ポイント高い(全国順位10位)。

悪性新生物の死亡率(人口10万対)を部位別にみると、男では、肺87.2、胃50.5、肝31.1の順に高く、女は、肺32.9、結腸26.9、胃24.7、の順となっている。

(県福祉保健課)